

2023年1月31日作成

Ver.1.3

周産期心筋症患者の発生数と病態の経時的変化とその要因の検討**1、研究の目的と意義**

今回、周産期心筋症の発症数の経時的変化および、症例の予後を明らかにすることで、周産期心筋症を予防し、適切な管理を行うことでより安全に妊娠・出産を行えるようにすることが期待できます。

2、対象となる患者さん

- ① 2000年1月1日から2022年12月31日に各研究機関の循環器内科において周産期心筋症と診断された患者さん
- ② 年齢は18歳から45歳
- ③ 性別：女性

3、研究の方法

多機関、非介入コホート研究です。周産期心筋症の診断で、研究実施機関に入院し治療を受けた患者さんの背景・病態・検査所見・治療・予後についての経年的な変化を調査する。その数が増加または減少している場合、それに関連する要因について検討します。

4、研究に用いる情報

- ・患者さんの背景
- ・治療薬
- ・身体所見
- ・血液学的検査
- ・尿検査
- ・胸部レントゲン写真
- ・心電図
- ・心エコー図
- ・心臓カテーテル検査
- ・心臓造影MRI検査（施行患者さんのみ）
- ・心筋シンチ検査（施行患者さんのみ）
- ・心筋生検（施行患者さんのみ）
- ・臨床経過

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2025年12月31日

6、外部への試料・情報の提供

「該当なし」

7、研究実施体制

本研究は多機関共同研究です。

長崎大学病院を中心に県内の約14機関で実施します。

詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

《研究代表者》

長崎大学病院 循環器内科 河野浩章

8.お問い合わせ先

長崎大学病院 循環器内科 河野浩章

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095(819)7288 FAX 095(819)7290

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095(819)7616

受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）